

■ 第17回 多摩川流域セミナー

“新たなチャレンジ!! 人と自然を活かした川づくり”
～多摩川水系河川整備計画のフォローアップ～

主催：多摩川流域懇談会

フォローアップ」とは、河川整備計画のさまざまな取り組みについて、みなさんと一緒に考えながら点検を行い、今後の川づくりに活かしていくしくみです。つまり、フォローアップも川づくりのひとつです。

「河川整備計画って何?」、そう思ったあなた！実は意外と身近なところでみなさんに関わっています。

日常生活をとおして多摩川について考えてみませんか？少しでも多摩川に興味がある方であれば、大歓迎です。



● 日時

・・・ 2005年2月19日 土曜日 午前10時00分～16時00分

● 内容

・・・ 10:00 開会

話題提供

その1

「多摩川水系河川整備計画のフォローアップ(たたき台)」～平成15年度の実施状況を踏まえて～(京浜河川事務所)

その2

「これでいいのか？河川整備計画」～川への想い～

・・・ 12:00 昼食・休憩

・・・ 13:00 午後の部

グループワーク

・・・ 14:30 ～緩やかな合意にむけて～

・・・ 16:00 閉会

■ 第17回 多摩川流域セミナー 開催報告

“新たなチャレンジ!! 人と自然を活かした川づくり”

～多摩川水系河川整備計画のフォローアップ～

主催：多摩川流域懇談会

2005(平成17)年2月19日(土)、多摩川流域懇談会の主催により第17回多摩川流域セミナーを川崎市
の中小企業婦人会館で開催しました。

今回のテーマも前回に引き続き「多摩川水系河川整備計画フォローアップ」です。

当日は、あいにくの空模様で朝方は雪も舞う寒い一日でしたが、市民や学識者、行政関係者など約60
名の方々に参加をいただき、活発な意見交換が行われました。

はじめに、多摩川流域懇談会の運営委員会委員長である長島保さんから「平成13年に、流域住民の参加によって策定された河川整備計画
が、その後どういう経過をたどって達成されたのか、未だ達成されていないのはどんなところなのか、そしてどんなところに問題があるのか、
それを今日お集まりの皆さんにじっくり議論をしていただきたい」との挨拶をいただきました。



行政からの話題提供としては、国土交通省京浜河川事務所調査課長の
辰野より「多摩川水系河川整備計画フォローアップレポート 平成15
年度版(たたき台)」の説明を行いました。

このフォローアップレポート(たたき台)は、昨年度寄せられた様々なご意
見や、前回の流域セミナーで出た意見などをもとに作成したもので、「多
摩川水系河川整備計画」の実施状況をより詳細にするとともに、整備目
標に対する達成度・年次計画に対する進捗状況を新たに追加していま
す。



つづいて、市民からの話題提供です。

「これでいいのか？河川整備計画」と題して、浅川流域市民フォーラム
の諏訪祥子さんから平成11年の出水以降、緊急改修工事が行われて
いる浅川(多摩川の支川)の状況を報告して頂きました。

急流河川で水の流が速く、流域の市街化が進んでいる浅川では、改
修工事が必要であることを十分認識しながらも、自然が失われていく現
状に対して「これでいいのか？」という流域住民としての感想など
が述べられました。



午後からは、それぞれのカテゴリーに分かれてグループワークを行いました。

グループ内での意見交換の後、市民と行政各々のコーディネーターの進行で、参加者のほぼ全員に発言していただき、「今まで参加した流域セミナーのなかでも、こんなにみなさんと身近に議論ができたのは初めてだ」との声も聞かれ、市民と行政がお互いに学びあえる機会となりました。



最後に京浜河川事務所長の海野から「今日は市民と行政で認識を同じくする部分もあり、大変有意義な場となりました。やはり市民と行政の間には、考え方の違いがあるかもしれないが、こういった機会を通じて同じ認識を持つことが河川整備計画フォローアップの大きな目的であると考えています。」と挨拶をしました。

多摩川水系河川整備計画フォローアップレポート平成15年度版は、今回を含めてこれまでいただいた皆様のご意見や今後ホームページで募集するご意見を参考にしながら、作成を進めます。完成後はホームページでも公開いたします。